

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.10.01-10.05

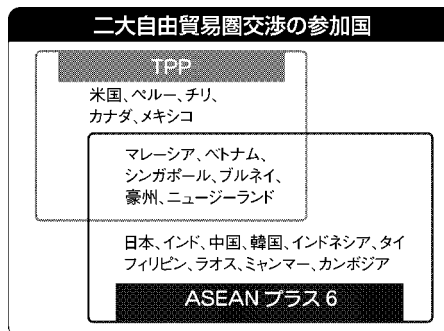
記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

10月1日(月)
経済連携 - 見えない糸口
日中韓 F T A / 交渉孤立も

日中韓 F T A の行方に、政治的対立で暗雲が垂れ込めている。日本は経済連携交渉の遅れを取り戻せるのか。カジ取りを誤ると、世界の自由貿易圏交渉で孤立しかねない。(2面)



上海ガニ養殖、水質浄化を実証
西日本技術開発 / 蘇州の湖

西日本技術開発は、九州大学や中国・上海交通大学などと水質改善と水産物養殖を一体化したシステムを10月から実証する。蘇州市の湖で上海ガニを養殖、水質の変化とカニの成長を調査。(30面)

和菓子を海外に展開
湖月庵 / 香港の物産展出展
湖月庵は、中華圏を視野に和菓子の海



「館どら」④と「まめ玉」(湖月庵)

外展開を検討する。サイトを通じ、海外からも引き合いがあり、香港での物産展に初めて出展。輸入卸業者を発掘し、現地での販路を開拓する。(30面)

三菱重工業と造船合併事業を見据えた技術支援協定を結んだインドのラーセン・アンド・トップロ(L T)(L T子会社であるL & T シップビルディングのカトゥッパリ造船所=4日付)



10月2日(火)
採用に日中関係は影響なし
三菱電機・日立 / 秋の入社式
採用に日中関係は影響なし。1日に秋の入社式を開いた三菱電機では中国人が予定通り入社。日立製作所も10月入社式を行った。13人の外国人のほとんどが中国人。(3面)

日本精工、40%増産
中国工場 / ポールネジ
日本精工は、ポールネジの供給能力を2013年をめどに約40%アップする。核となる中国工場で生産ラインの増強、多様なポールネジの径、長さ、細部設計に対

応可能な最新設備を導入した。(6面)
ニデック、眼科機器を中国生産
低価格機 / 現地企業に委託
ニデックは、中国で眼科医療機器や眼鏡検査機器を2013年春に生産する。自社工場を持たず現地企業に対し、眼科診断装置やレンズ測定装置など機能を絞り込んだ低価格機を中心に生産。(11面)

医薬品包装機で中国参入
オーエム製作所 / 錠剤用
オーエム製作所は、自動包装機で中国の医薬品市場に参入する。C K D のプリスター包装機と組み合わせた高速対応の医薬品自動包装機を2013年4月に発売する。錠剤をターゲット。(11面)

10月3日(水)
セーレン、内装材を増産
3倍、月100万m / 中国に新ライン
セーレンは、自動車内装材を増産する。2016年度にシート素材の合成皮革製品の生産能力を約3倍の月80万100万㎡に引き上げる。中国工場で生産ライン。また海外に新拠点。(5面)

イトーキ、第2ブランド拡充
中国など新興国向け
イトーキは、新興国向けのオフィス家具ブランド「ジョイテン」の品ぞろえ拡充を急ぐ。中国をはじめとするアジアの新興国市場開拓を狙い、初めて立ち上げたセカンドブランド。(13面)

中国語検定で優秀者に報奨金
日本アジア投資 / 国際人材育成加速
日本アジア投資は、世界で通用するグローバル人材の育成を加速させる。中国語の習得を支援する研修に加え、英語も

しくは中国語の語学検定試験で優秀な成績の社員への報奨金を設置。(15面)
10月4日(木)
景況感、日中問題で悪化
0.9%低下、36.8
9月の景気動向調査によると、前月比0.9%低下の36.8となり、2カ月連続で悪化。世界経済の減速に加え、日中関係の冷え込みが響いた。帝国データバンクがまとめる。(2面)

香港、「反日」より「反中」
地元メディア
中国への返還から15年たった香港で、中国本土に対する反感が高まっている。地元メディアでは「反日」より、「中港(中国と香港)摩擦」「中港矛盾」に関する報道が目立つ。(時事=2面)

杭州に部品の販売・輸出入会社
G M B / 物流・品質管理拠点
G M B は、年内に浙江省杭州市で自動車部品の販売と輸出入を手がける「吉明美(杭州)汽配」を設立し、2013年1月に営業を始める。協力工場から調達する製品の物流・品質管理拠点に。(5面)

アムデックス、上海に工具販社
転造加工用ダイス・転造盤
アムデックスは、上海市に機械工具や加工設備を販売する現地法人「有夢貿易上海」を設立する。転造加工用ダイスや転造盤などを販売する。転造加工などを委託する現地企業を開拓する。(7面)

10月5日(金)
パナソニック、業績に影響なし
3工場物の被害 / 中国デモ
パナソニックは、中国のデモに伴う3

工場での物的被害について、2012年度連結業績予想への重要な影響はない見通し。蘇州工場、珠海工場は通常稼働。青島工場は中旬に通常稼働に。(3面)

三菱電機、中国を輸出拠点に
開閉機器 / 伊丹から派遣し指導

三菱電機は、2013年度から中国で製造した開閉機器の輸出を始める。先進国での老朽機器の代替や新興国でのインフラ整備などで世界需要が拡大。兵庫県・伊丹地区から人員を派遣し指導。(8面)



系統変電システム製作所で製造している変圧器(三菱電機)

ひと
冷静な客層に支えられ
「中国の3店舗は11月初めから順次再開したい」と平和堂社長の夏原平和さん。店舗が被害にあったが「引き続き店舗展開する気持ちは変わらない」。現地の人から「早く再開して」と。「良い物を買いたい冷静な客層に支えられている」と現地での定着に自信。(3日=13面)

ASIA

10月1日(月)
インドとマレーシアに増設
ヒロセ電機 / コネクター拡販

ヒロセ電機は、インドのデリーとマレーシアのペナンに営業拠点を開設した。アジア地域で産業機械や自動車、インフラ向けにコネクター製品を拡販する取り組みの一環。(12面)

医療機器で新興国開拓
オリンパス・ソニー / 提携合意
オリンパスとソニーは、資本・業務提携することで合意。医療機器事業の新会社を12月に設立する。オリンパスは新興国で内視鏡システムの研修施設の開設を急ぎ、市場を開拓する。(14面)

10月2日(火)
伊藤忠、ミャンマーに事務所
首都ネビドーに開設
伊藤忠商事は、ミャンマーの首都ネビドーに駐在員事務所を開設した。1人が常駐し、情報収集などに当たる。1955年に開設したヤンゴン事務所とともに同国での事業機会の発掘を進める。(3面)

三菱自、マレーシア倍増
年3万台 / 「ミラージュ」投入
三菱自動車は、マレーシアでの販売台



三菱自動車は現地ディーラーを増やして拡販する

数を2015年度にも2倍の年3万台に引き上げる。世界戦略小型車「ミラージュ」の投入など車種を拡充。系列販売店を同2倍の100店舗に増やす。(5面)

東芝プラント、タイで受注
工場の E P C
東芝プラントシステムは、タイで4輪車用シートとドアトリムの製造工場の E P C (設計、調達、建設)業務を受注した。2013年9月稼働。ティ・エステックの現地子会社から受注した。(6面)

日本ペイント、アジアに2拠点
スリランカ・バングラ
日本ペイントは、スリランカに新会社、またバングラデシュに工場を2013年春をめどに新設する。スリランカでは建築用・自動車補修用塗料の現地企業の株式60%を取得。(10面)

マレーシアでアルミ鋳造
昭和電工 / 月800ト
昭和電工は、アルミ鋳造工場をマレーシアに新設する。ジョホール州に月産約800トの工場を建設し、2014年に操業を始める。自動車生産増が続くアジアで需要増を取り込む。(10面)

ダイクレ、台湾に現法
熱交換器・フィンチューブ製販
ダイクレは、台湾・台南市に熱交換器、フィンチューブなどの製造販売会社を設立した。東南アジアで高まる熱交換器や加熱・放熱効率の高いフィンチューブの需要増に対応する。(12面)

シンガポールに6店目の百貨店
三越伊勢丹
三越伊勢丹ホールディングスは、シンガポールに6店目の百貨店を出店する。開業は2013年3月末。ジュロン イースト地区に開業予定のショッピングセンターの核テナントとして出店。(19面)

10月3日(水)
韓国・大田市、日本企業招く
商談会 / 「政治問題と経済は別」
韓国の大田広域市が、日本企業を現地に招いて商談会を開催する。九州15社と

韓国40社が参加。2009年から開いており韓国企業が来日していた。丁亨大所長は「政治問題と経済交流は別」。(3面)

横浜ゴム、ベトナム製販一本化
原料混合から成形・加硫を一貫体制
横浜ゴムは、ベトナムでタイヤの生産と販売事業を月末にも一本化する。2輪車用・軽トラック用タイヤを生産。ミニスベアタイヤを中心に、ゴム原料の混合から成形・加硫まで一貫生産。(5面)

荏原、海外営業を強化
石油・天然ガス / 東南アジアに専門担当
荏原は、石油・天然ガス向けコンプレッサー、タービンの海外営業体制を強化する。コンプレッサー事業の子会社・エリオットグループが東南アジアに専門の営業兼技術担当者を配置する。(7面)



荏原エリオットのコンプレッサー

タイ棒線加工2社を統合
新日鉄住金 / 現地需要増
新日鉄住金は、タイで事業展開する鉄鋼の棒線2次加工メーカー2社を2013年1月をめどに統合。日系自動車部品メーカーの現地需要増に対応。新日鉄住金での海外事業統合の第1号案件。(10面)

ベトナム合併、完全子会社化
共英製鋼 / 運営の機動性向上
共英製鋼は、ベトナムで鉄筋用棒鋼を製造する合併会社「キョウエイスチールベトナム」を完全子会社にした。現地パートナーとの合併契約を解消。事業運営の機動性向上を目指す。(10面)

王子 H D、タイ社を買収
紙器・段ボール製造販売
王子ホールディングスは、タイのパッケージング会社であるボックスアジアグループインターナショナルを買収する。紙器や化粧段ボールの製造販売会社で従業員は約200人。(10面)

J X エネ、韓国で共同製造
潤滑油 / 年産135万kl
J X 日鉱日石エネルギーは、韓国のS K L プリカンツとの潤滑油ベースオイル共同製造事業を始めた。ウルサン市の工場で年産能力135万klの設備が稼働を始めている。(11面)

信金中金、バンコクに事務所
信金の進出取引先240社に情報
信金中央金庫は、タイのバンコクに駐在員事務所を開設した。タイに進出する信用金庫の取引先約240社に対し、現地の経済情報や販路・調達先を拡大するための情報を提供する。(15面)

10月4日(木)
アジア減速、6.1%成長
中国・インド後退 / アジア開発銀
アジア開発銀行は、アジア太平洋45カ国・地域(日本など除く)の12年の経済成長率は6.1%と、4月時点の予測の6.9%から下方修正した。中国とインドの減速が要因。(時事=2面)

アジア各国・地域の成長率予測		
	12年	13年
アジア太平洋	6.1(▼0.8)	6.7(▼0.6)
東アジア	6.5(▼0.9)	7.1(▼0.6)
東南アジア	5.2(▼0)	5.5(▼0.2)
中国	7.7(▼0.8)	8.1(▼0.6)
香港	1.6(▼1.4)	3.9(▼0.6)
韓国	2.7(▼0.7)	3.4(▼0.6)
台湾	1.7(▼1.7)	3.8(▼0.8)
インド	5.6(▼1.4)	6.7(▼0.8)
インドネシア	6.3(▼0.1)	6.6(▼0.1)
マレーシア	4.6(▼0.6)	4.8(▼0.2)
シンガポール	2.2(▼0.6)	3.8(▼0.7)
タイ	5.2(▼0.3)	5.0(▼0.5)
ベトナム	5.1(▼0.6)	5.7(▼0.5)

(注)実質GDP伸び率。単位は前年比%。カッコ内は今年4月からの修正値。単位ポイント。▼はマイナス

下水再生で国際規格
第1弾インドネシア / 国交省
国土交通省は、下水の再生利用で、海外各国の水質基準の策定支援や国際規格作りを乗り出す。第1弾として、インドネシアで両国政府や学識経験者などで構成する検討会議を設ける。(1面)

三菱重工、インド造船に100人
幹部層も派遣 / 現地化進める
三菱重工業は、2015年にもインドでの造船事業に、100人規模の人員を派遣する。インドでは、現地エンジニア社との造船事業を検討。長崎造船所や下関造船所などから幹部層も派遣。(3面)

横河電機、自家発制御を受注
インドネシアの製鉄所
横河電機は、韓国のポスコとインドネシアのクラカタウ・スチールの合併会社がインドネシアのパンテン州チレゴン市に建設する製鉄所の自家発電所向けに、制御システムを受注した。(6面)

マレーシアの鉄道設備受注
明電舎 / 31駅間の変電所35カ所
明電舎は、マレーシアの大型鉄道プロジェクトの電力設備を受注した。総額120億円。首都クアラランポールの北西から南東へ総延長51キロ、31駅間に設置される変電所35カ所に設備。(8面)

ミャンマーに地デジ機器
NEC / 初の民放
NECは、地上デジタルテレビ放送用送信機を納入したミャンマーの民間放送事業者が、首都ネーピードーなど主要13都市で放送を開始。民間事業者がデジタル放送を実施するのは初めて。(9面)

10月5日(金)
片岡製作所、韓国に新工場
高精度レーザー加工装置 / 現地向け
片岡製作所は、韓国・華城市に高精度レーザー加工装置などの新工場を11月開設する。主にスマートフォンや自動車の電子部品製造用レーザー装置を生産、同国の顧客に納める。(6面)

羽田で国際郵便
東南アジア向け / 三井物産子会社
東京国際エアカーゴターミナル(三井

今回は -
15日(月)は新聞休刊日ですので、「中国・アジア ダイジェスト」面の今回は22日(月)に掲載します。



羽田空港・国際線ターミナル
物産の100%子会社)は、羽田空港で国際航空郵便を2013年夏から開始する。中国、韓国、タイ、シンガポールなど東南アジア向けを扱う。(1面)

ベトナムで技術者を紹介
J E S C O / 日系中小向け工業団地
J E S C Oホールディングスは、ベトナム進出の日本企業に技術者などを紹介する事業に乗り出す。同社はホーチミン市近郊に日系中小企業向けの工業団地を開設した。(25面)

「ルックイースト」を評価
マレーシア国王来日 / 日商会頭
第14代マレーシア国王・アブドゥル・ハリム・ムアザム・シャー氏が来日。経済5団体の代表あいさつした岡村正日商会頭は「ルックイースト政策の成果も特筆すべきもの」と高く評価。(28面)



マレーシア国王(写真左)歓迎昼食会で挨拶する岡村会頭(写真右)

企業 チャンネル
固有の技術と製品で存在感を示す日本のものづくり企業。各社各種の知恵と工夫に富んだ企業の中から、貴社にとって選りすぐりの企業が見つかります。

特集 チャンネル
ものづくりを取り巻くさまざまな切り口でお役立ちコンテンツを掲載。話題のイベントや個別業界などにスポットを当てた企画。ビジネスの動きが読み取れます。

読み物 チャンネル
インタビュー、コラム……。ものづくりに関する最新の視点と、課題を語るタッグを掲載。掲載したい記事は1回読み切り記事のなかには、発見をひらくためのヒントが隠れます。

教育イベント チャンネル
ものづくりに関する全国各地のイベント・セミナー情報を掲載。無料イベントを含む情報入手を通じて、貴社の情報感度とネットワークを高めます。

専門・技術 チャンネル
ものづくりを支える多様な技術と専門技術を幅広く紹介。業界や製品に特化したポイント解説で、貴社のインテリジェンスが深まります。

地域 チャンネル
全国各地のものづくり企業を地域単位で紹介。地場産業など、その地域ならではの個性派企業が見つかります。